

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
LIBOらぼかわさきにし園		令和6年 11月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		グループ(SST、運動)はスペースの使い方に工夫が必要	多くの利用があった時には職員の配置や順番、一斉ではなく、何組かに別れて取り組む等事前に話あっている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		稼働、職員数、希望休、療育希望時間、日と考えると無理する日がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			床や壁、扉等危険がないように定期的に点検している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			毎日療育後に掃除している(掃除機、床拭き、トイレ掃除等)定期的なクーラーや空気清浄機の清掃も行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		別室での対応が難しい場合はパーテーションで区切る等している。(2名)	カメラがあり、保護者の方に見やすい場所を心掛けている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	特に評価表等ないがFBで意向等聞いている。	相談等は気軽にさせていただいていると思う。すぐに対応できるように心掛けている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		希望がある場合、訪問や電話等で連携をとっている (2人)	年々訪問や連携の書類作成等の依頼が増えている。なるべく、早急に対応できるようにしている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	1		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	希望がある場合、幼稚園や保育園訪問に行き、接する場面はある	年々訪問や連携の書類作成等の依頼が増えている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		昨年一般の人や親御さんに向けて勉強会を開いたが、定期的にやるかわからない
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		直接していないが、コマによっては控室がそういった場になっていることがある。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		できる限りは行えていると思う。	なるべく対応できるようにこころがけている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		ヒアリングシートで記入されているものは把握している	直接食事の場面はないが、事前のヒアリングシートや日々の振り返り等で伺っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 LIBOらぼかわさきにし園

公表日 R6年 11月 1日

利用児童数 36名

回収数 23/36

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23				A:たくさん先生方に見ていただき安心	今後とも職員間で情報を共有し、職員数が日によって少ない日でも安全に配慮し、楽しみをもって安心して来園できるようにしていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	3				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23				A:楽しそうにしている。拒否がない。	不安がないよう視覚支援や1対1の補助をしながら無理なく環境に慣れさせていただき、お子さんたちの自信や意欲につなげていきたい。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1			A:相談したことを課題に取り入れて工夫してくれている。 A:その子が今できること、興味あることをキャッチして課題を考えてくれていると感じる。 A:レベルに合わせてもらっているせいか本人も楽しんでいると思う。	今後とも毎回の連絡帳や振り返りでお子様やご家族の様子を伺いながら、お子様のペースに合わせてスモールステップで成功体験を重ね、自信や意欲に繋がる支援や個別支援計画を考えていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22			1	D:まだ一か月しかたっていないため。 A:現状の様子をきちんと見て支援計画をたててくれている。	通って間もないお子さんや保護者の方にも安心して通っていただけるよう振り返り等で様子を伺い、職員間で統一した支援を行っていく。保護者の方には安心して相談していただけるような雰囲気、環境づくりをこころがけていきたい。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1		1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	3		1	A:「今日は何をするのかな？」と楽しみにしている。 A:反復することに意味があることもあるかなとは思っている。 A:いつも新しいプログラム？や個別内容をきいている。	職員間の共有を徹底するために、多少同じ流れのプログラムになることはあるが、全く同じ内容になることはない。指示の出し方、わかりやすい指示を意識している。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	5		11		
保護者への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	1	8	D::研修会等あればありがたい。	会社や地域で案内があった場合は保護者控室に掲示している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22			1	A:いつもFBを丁寧にいただき子どもの様子をたくさん知ることができる。 A:いつも細かく話をしてもらっている。	今後とも振り返り等で家庭の様子を聞き取り、職員間で情報共有し、支援に活かしていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21			2	A:リボらほの様子だけでなく他事業所や家庭での様子を共有できている。	今後とも振り返り等で家庭の様子を聞き取り、職員間で情報共有し、支援に活かしていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22			1	A:いつも愛情をもって接してくださっているとかなじっていてとても嬉しい。	今後とも不自信、不快感のないような支援、環境づくりに努め、保護者様の相談等に早急に対応していきたい。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	1	12		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1		6	D:大きな怪我をしたことがないのでわからない。 D:事故や大きな怪我をしたことがないのでわからない。	怪我や嘔吐等の研修は定期的に行っている。衝突や転倒等ないよう間に職員が入る等職員の配置、人数を分けて行う、座る前に椅子を支える等共有している。万が一起こった時には、応急処置、保護者への連絡、病院への付き添いを行う。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				A:場所や先生方に対してとても安心していている様子がわかる。	今後とも安心できる環境づくりにこころがけていきたい。
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21		2		C:口ではいいいやと言っているが行くとな楽しそうにしている。 A:「リボらばいくよ」と声を掛け「はじまりのうた」を歌うとにっこりしてくれる。通えることが嬉しい様。 A:LIBOの曲を歌うと自ら玄関へ行く。	来園渋りや母子分離渋りがあった際にはその子にあわせた切り替えの対応を保護者の方と相談している。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				A:マンツーマンと小集団を1回でできることがありがたい。 A:丁寧な対応に感謝している。1つ1つは小さな成長だがとても大きな成長ですごく嬉しい。 A:大満足です。	机上時間+小集団セットが特徴のため、評価していただきありがたい。 今後ともお子様の成長、自信につながるような支援に努めていきたい。